

# レフリータイムと放棄試合の手順

H28.4.1 審判部

交代競技者のいないチームに負傷者が出て、通常のタイムアウトでは対処出来ないと判断した場合、キャプテン・監督は応急処置の時間として5分程度のレフリータイムを主審に申し出る事ができる。1日を通して同じ競技者が2回取る事は出来ない。

## 主 審

☆両チームのキャプテン又は監督にレフリータイムを宣言し同時に終了予定時刻を伝える。

(体育館内の時計で5分程度)

☆原則として、処置は該当チームの関係者とする。

☆終了予定時刻の1分前になったら該当チームのキャプテン又は監督に試合開始を促す。

主 審



チーム名・競技者名を報告

コート責任者



チーム名・競技者名を報告

本 部

記録する

役員が負傷者の状態を確認し続行可能か判断する

(役員とは副会長、理事長、副理事長、運営部長、審判部長)

## 試合が再開された場合

試合開始を伝え、試合を続行する。

## 試合が再開されない場合

## 放棄試合

☆試合続行が不可能な場合、試合放棄とする事を両チームのキャプテン又は監督に伝える。

主 審



放棄試合成立を報告する。

該当競技者を除く競技者を整列させ

試合終了を行う

コート責任者



放棄試合成立を報告する。

全チームのキャプテンを集め

対戦表を修正する。

本 部



運 営 部

対戦順序表を修正する。

◎放棄試合がリーグ戦で起きた場合・・・全ての試合の勝敗を0-2、得失セットを0-2

得失点を0-15とする。

◎放棄試合がトーナメント戦で起きた場合・・・その試案のみ勝敗を0-2、得失セットを0-2

得失点を0-15とする。